

第三者評価の受審実績（過去 5 年間）	平成 21、22、23、24、25 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

## 【取材メモ】



### 取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価（自己評価）のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

## ■事業所の特色

平成 6 年 3 月に法人認可を受け、同年 11 月に最初の施設である福生学園(当時の知的障害者更生施設)を開設した時点から、より正確に言えば、その準備の段階から、当法人は障害者の文化活動を柱に据えた施設づくりを進めてきました。現在も法人が掲げる 5 つの具体的経営方針のうち、2 つの項目を文化活動の推進に充てています。

その一つが音楽療法の充実と発展であり、平成 11 年に開設した当事業所では、施設内に専用の音楽療法室を備え、当初から専門家の力を借りて音楽療法に力を入れて取り組んでいます。

また、利用者による造形や絵画等の創作活動を積極的に支援し、その作品を発表する機会を設けて、障害のある人たちの豊かな感性を社会に広く発信する活動を展開しています。

さらに、武蔵村山市における法人の拠点施設として、市内に展開する地域活動支援センターや相談支援事業、共同生活介護・共同生活援護等の事業における中核的な役割を果たすとともに、市との間に災害時等における二次避難所（福祉避難所）の開設等に関する協定を締結するなど、市の障害者福祉施策を推進するうえで重要な一翼を担っています。



【音楽療法室】